

ホロトの森エコミュージアム
推進協議会
(農泊)

北海道胆振総合振興局

【協議会の特徴・理念】

- ・白老多文化共生ミュージアムとの連携強化、滞在交流プログラムの実現、町内他地域との連携による地域活性化を目指す。

【地域の概要】

① 自然環境

白老町は、北海道の南西部に位置し、南は太平洋、西は登別市、北は千歳市と伊達市大滝区、東は別々川をはさんで、苫小牧市と隣接している。東西に細長く伸びており、その面積の約79%を森林が占め、海、川、山、森と様々な自然にあふれたのどかな街です。



②人口

白老町：17,740人(2015年)

③主な産業

●工業

道央中核地域に属し、地域産業の流通拠点である地方港湾白老港が整備され、製紙業や、食品製造業などが進出している。

●農業

肉用牛、養鶏、軽種馬の畜産を主体に農業を展開しています。特に肉用牛については、昭和29年に北海道初となる和牛を導入し、平成19年に「白老牛」として商標登録され、ブランド牛として、全国的に展開されています。



④イベント等

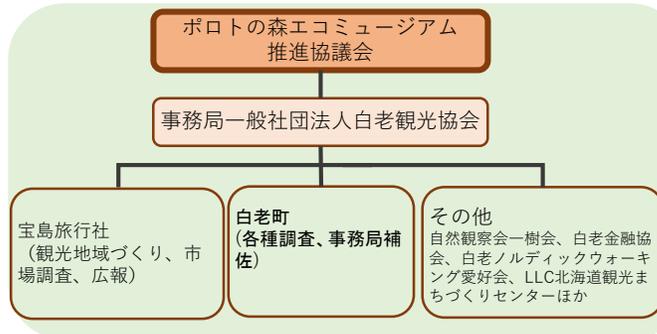
白老牛肉まつり（6月）

【協議会の概要】

① 設立年

2017年～

② 構成員・代表者（又は団体）



③協議会設立の経緯（きっかけ）

・ウポポイ(民族共生象徴空間)のオープンをきっかけに地域課題の解決に向けて、国の農泊推進事業を円滑に推進するために設立

④協議会の活動内容

- ・PRツールの作成
- ・知名度向上のためのイベントの企画・実施
- ・人材育成、ガイドツアープログラムの実践

⑤現在の課題

- ・ガイドの高齢化や若手人材の担い手不足
- ・地域に点在する宿泊施設との連携
- ・外国人旅行者への対応

【主なコンテンツの種類及び実績】

①宿泊者数（人）

年度	バンガロー		野営場	
	国内	インバウンド	国内	インバウンド
H29	2,395	34	779	46
H30	2,423	101	1,022	58
R1	2,169	15	756	35

②体験メニュー（人）

年度	体験メニュー計
H29	42
H30	67
R1	102

体験メニュー

- ・森を専門ガイドと歩くツアー
- ・ナイトキャンプエゾシカ枝肉とアイヌ民族料理体験
- ・ネイチャークラフト作り体験

③利用状況

【利用者の形態】

- ・現在のところ国内客が主

【利用者の声】

- ・アイヌ民族のくらしが分かった。
- ・札幌から近いのに、非日常体験できた。
- ・子どもたちに雪を見せられてよかった。

【特徴的な取組】



森を専門ガイドと歩くツアー

<宿泊>

- 協議会での管理はバンガロー、野営場のみ
その他の宿泊施設の希望があった場合は、観光協会から紹介
また、グランピング等の取り組みについては、地域おこし協力隊が実施

<アクティビティ>

- 森を専門ガイドと歩くツアー(協議会)
- ナイトキャンプエゾシカ枝肉とアイヌ伝統料理体験(協議会)
- 新潟からの移住者が多いことから新潟特産の米を使ったべこ餅作り体験(観光協会)
- 北海道きのこ品評会で最高賞を受賞した農園での原木しいたけ収穫体験(観光協会)
- 虎杖浜名物の「たらこ」詰め体験(観光協会) など

<特徴的な取り組み>アイヌ文化の体験

- アイヌ民族が儀式で使う箸を小枝からつくるネイチャークラフト作り体験(協議会)
- ナイトキャンプエゾシカ枝肉とアイヌ伝統料理体験(協議会)【再掲】
- アイヌ民族が昔、履いていたチェプケリ(鮭の皮で造形した靴)での氷の湖上ウォーク(観光協会)
- アイヌ民族が昔、食した鮭料理の再現体験(観光協会)

※協議会主催のメニューは3つのみ、その他は構成メンバーである観光協会の主催

【連絡先】

代表窓口：ポロトの森エコミュージアム推進協議会

(事務局 一般社団法人白老観光協会 担当TEL0144-82-2216 FAX0144-82-4517)